

第19回「翠明湖の桜を救え」糶屋ダム周辺整備活動報告

日 時	令和6年11月24日（日）午前9時～12時
場 所	翠明湖（糶屋ダム） 多可郡多可町中区糶屋
参加者 総勢72名	中ライオンズクラブ 10名・なかやちよの森公園 15名・糶屋ダム管理所 3名 加古川西部土地改良区 29名（県庁、加古川流域、県土連、関係市町）、NPO 田園 21 15名

活動主旨

昭和61年に植樹された桜450本は、翠明湖（糶屋ダム）の景観を維持し、4月には美しい桜並木に多くの見物者が訪れます。

この桜の手入れは、中ライオンズクラブさん・なかやちよの森公園さんや多くのボランティアの皆さんが中心となって過去18回開催されています。昨年に引き続き、下流域から29名と今年から「NPO美しい田園21」の15人が参加し、翠明湖（糶屋ダム）の周辺整備を実施しました。

参加した総勢72名を草刈班6グループ（A～F）、伐採班4グループ（①～④）に班分けし、翠明湖の右岸（なかやちよの森公園から県道八千代中線まで）の約4.5kmの区間、桜木の下での除草作業、成長し道にはみ出した枝木の剪定作業を実施しました。

多可町中ライオンズクラブ 矢持会長から、「過去最大人数が参加し、今年も翠明湖周辺が美しくなった。引き続き皆さんの共に守っていききたい。」と話され、今後も『水源地への感謝』の気持ちをもってこの活動を継続させられるよう、関係団体と連携して支援させていただくこととしています。

活動写真

開会の様子



快晴の翠明湖（糶屋ダム）



中ライオンズクラブ矢持会長の開会



多可町 吉田町長のあいさつ



利水者を代表して加古川西部 三宅理事長のあいさつ

活動写真

桜の周辺の雑木や雑草の下刈り（急斜面での作業）



活動写真

道路に伸びた枝木を剪定してダンプで搬出



活動写真

閉会の様子（糶屋ダム管理所 國田所長あいさつ）

